



身近な自然

身近な“自然”に触れ親しみを持つ経験を通して感性(心)を豊かにする

にじ組(0歳児)、そら組(1歳児)



テーマ設定理由：身近な“自然”に触れ親しみを持つ経験を通して感性(心)を豊かにするため。

活動スケジュール

夏 水と遊ぼう

水遊びの活動を通して水の感触や形の変化を楽しむ。

準備したもの…ペットボトルシャワー、カップ等、色水、氷

秋・冬 自然物を見て、触れて、感じて

戸外活動を通して季節ならではの自然に触れる。

準備したもの…散歩バッグ(自然物収集の為)



「穴から出てきたよ」

「つかみたい!!」

目の前に流れてきた水を
両手で掴もうとする様子
から...



「なんかいつもと違う...
触ってみたい!」



「なんかプルプルするよ
ずっと触っていたい...」

色水やビニール袋に水をため
ることで形のない水を形とし
て捉えることができ、新たな
感覚をじっくりと味わう姿が。

水と遊ぼう！水の不思議を発見！

不思議① 水ってつかめないの？

→水を捕まえよう！

準備物：ビニール袋(透明)、バケツ、シャベル等

不思議② 水って何色なの？

→水に色を付けてみよう！

準備物：絵具、色水



「おお！カッコいいな。」



「先生！ここ！
何か動いてる！！」



「僕はお布団にしたよ！」



「どんぐり。大事に
持って帰ろう。」

自然物の“おもしろい”を発見！

おもしろい① 小さな生き物発見！

おもしろい② 落ち葉ってふかふか～。

おもしろい③ 散歩先で見つけた“宝物”



発見、驚き＝探求心、感性を豊かに。

（振り返り、保育士の気づき）

・身近な“自然”の中で子どもならではの視点での気づきがあり、子どもたち自ら自然と関わり、**発見や驚きを見つける姿**があった。

子どもたちが主体的に自然物と関わる様子から、子どもの興味関心を持つ姿に**保育士が気づき**、自然物の音、形、感触等を具体的に言葉にして伝えることで、より感触や形の変化等を楽しむことができた。乳児期は、言葉で感覚や感動を言葉にすることは難しいが、五感を活用し肌で感じたことを言葉以外の表現で伝えてくれる。その**発信を保育士が受け止め**共感していくことで子どもたちの探求心や感性を育ていけるのだと、すくわくプログラムと通じて感じた。今後も子どもたちの**純粋な感覚を大切に**し、**共感**し子どもたちの探求心や感性を育てていきたい。

「先生！お空に絵を描いているみたい。」